



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 榮一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部財務部長 (氏名) 白田 浩二

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,790	14.8	852	71.6	859	67.9	487	69.7
2022年3月期第3四半期	6,786	37.9	496	△3.5	512	△11.2	287	△20.4

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 610百万円 (74.7%) 2022年3月期第3四半期 349百万円 (△56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	36.90	—
2022年3月期第3四半期	21.75	21.74

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	41,878		17,910			37.5
2022年3月期	42,895		17,484			35.7

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 15,715百万円 2022年3月期 15,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2023年3月期	—	7.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,278	3.6	965	49.5	921	24.3	532	6.5	40.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,600,000 株	2022年3月期	13,600,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	384,042 株	2022年3月期	388,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,214,060 株	2022年3月期3Q	13,211,971 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更等)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が大幅に緩和され、経済活動の正常化に向けた動きが期待されたものの、原材料やエネルギー価格の高騰による物価上昇や、世界的な金融引き締めを背景とした為替相場の急激な変動等もあり、国内景気動向は依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、海外からの製品等仕入れにおいて、円安、原材料高、中国ロックダウンの影響を受けた一方、キャンプ関連商品の需要拡大が継続するなど、取扱品により差が出た事業活動となりました。

不動産活用事業は、大型商業施設「イオンモール川口」を前期にイオンモール㈱に賃貸開始したことから、当期においては通期にわたって業績に寄与しております。また、既存の賃貸物件である「イオンモール川口前川」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,790百万円（前年同期比14.8%増）となりました。営業利益は852百万円（前年同期比71.6%増）となり、経常利益は859百万円（前年同期比67.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は487百万円（前年同期比69.7%増）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、衣料向け生地販売事業を縮小したものの、原糸販売において市況の回復および仕入れコスト上昇分の価格転嫁を進めたことから、増収増益となりました。

アパレル部は、取引先である百貨店からのユニフォーム商品の新規受注が減少し、また円安等による影響からコスト増となり、減収減益となりました。

アウトドア部は、コロナ禍において行動制限がなくなったことを受け、キャンプ関連の需要が高まり、取引先の取扱い商品の売場面積が拡大したこと等により、増収増益となりました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、春夏物アイテムの販売が伸びず減収減益となりました。

昨年5月に設立したサイボークリエイト㈱は、主にプリント加工品の製造・販売を行います。同事業は当第3四半期連結会計期間より製造・販売を開始しておりますが、工場の生産体制を整えるため費用等が先行し、計画内の損失を計上しました。

この結果、繊維事業の売上高は4,099百万円（前年同期比25.3%増）となり、営業利益は23百万円（前年同期比76.0%減）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるという、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、新しい社会環境にあわせた最新型の商業施設として2021年5月よりイオンモール㈱に賃貸を開始し、当初より売上に寄与したことから、増収に繋がりました。

収益面では、「イオンモール川口前川」は前年からのリニューアル工事が計画通りに完了し費用を計上しておりますが、「イオンモール川口」における不動産取得税等一時的な費用が前期に比べ大幅に減少したことに加え、予定計上しておりました当該費用の金額が確定し、費用の一部を戻入れたため、増益となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は2,784百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は720百万円（前年同期比228.5%増）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、SNSでの情報発信やキャッシュレス化の導入等により、来場者に対して利便性の高いサービスを提供するとともに、感染症対策に万全を期した営業を続けております。しかしながら、当期は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせ、行動制限が緩和されたことから、お客様のレジャーにおける選択の自由度が増し、練習場への来場者が減少したため減収減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は744百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は70百万円（前年同期比51.0%減）となりました。

④ その他の事業

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工のほか大口物件の受注があり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は701百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は56百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,017百万円減少して41,878百万円となりました。これは主に現金及び預金や商品及び製品が増加したものの、流動資産のその他に含まれる未収消費税等の還付や有形固定資産の減価償却が進んだこと等による減少であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,443百万円減少して23,968百万円となりました。これは主に長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ426百万円増加して17,910百万円となりました。これは主に配当金の支払やその他有価証券評価差額金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や繰延ヘッジ損益が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ371百万円増加して2,798百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第3四半期連結累計期間に比べ738百万円増加して2,157百万円となりました。これは主に売上債権や棚卸資産が増加し、また仕入債務が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の増加や未払又は未収消費税等の増減額が消費税等の還付により増加したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第3四半期連結累計期間に比べ2,810百万円減少して230百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は1,554百万円(前第3四半期連結累計期間は得られた資金が2,084百万円)となりました。これは主に短期借入れによる収入や長期借入れによる収入が減少したこと、短期借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,586,237	2,952,890
受取手形、売掛金及び契約資産	1,017,450	1,306,382
有価証券	—	50,817
商品及び製品	1,005,705	1,390,423
仕掛品	6,795	6,602
原材料及び貯蔵品	32,342	76,640
その他	1,489,568	171,637
貸倒引当金	△4,870	△1,927
流動資産合計	6,133,228	5,953,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,885,429	22,244,547
土地	7,822,588	7,822,588
その他（純額）	349,646	422,575
有形固定資産合計	31,057,664	30,489,711
無形固定資産	10,236	5,086
投資その他の資産		
投資有価証券	5,170,536	4,992,677
その他	577,287	484,811
貸倒引当金	△53,199	△47,120
投資その他の資産合計	5,694,624	5,430,368
固定資産合計	36,762,525	35,925,165
資産合計	42,895,753	41,878,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,189	569,098
短期借入金	880,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	1,101,740	1,076,540
未払法人税等	132,527	32,938
賞与引当金	49,182	24,088
役員賞与引当金	7,030	5,272
その他	1,004,725	956,167
流動負債合計	3,837,394	2,994,104
固定負債		
長期借入金	14,770,867	13,998,564
役員退職慰労引当金	253,889	262,254
退職給付に係る負債	166,715	178,175
長期預り保証金	5,579,948	5,583,599
資産除去債務	621,646	681,797
その他	180,994	269,747
固定負債合計	21,574,062	20,974,137
負債合計	25,411,456	23,968,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	825,348	825,348
利益剰余金	12,504,327	12,808,811
自己株式	△245,433	△243,574
株主資本合計	14,486,242	14,792,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,391	814,755
繰延ヘッジ損益	△23,187	116,713
退職給付に係る調整累計額	△8,978	△8,374
その他の包括利益累計額合計	838,225	923,094
新株予約権	5,143	4,680
非支配株主持分	2,154,685	2,190,029
純資産合計	17,484,296	17,910,390
負債純資産合計	42,895,753	41,878,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,786,732	7,790,287
売上原価	5,379,038	5,968,949
売上総利益	1,407,693	1,821,338
販売費及び一般管理費	910,906	968,658
営業利益	496,787	852,679
営業外収益		
受取利息	1,064	1,028
受取配当金	97,108	78,220
持分法による投資利益	-	22,699
その他	22,576	49,890
営業外収益合計	120,748	151,838
営業外費用		
支払利息	81,578	76,914
デリバティブ評価損	1,797	54,330
持分法による投資損失	5,899	-
その他	16,202	13,672
営業外費用合計	105,477	144,918
経常利益	512,058	859,599
特別利益		
投資有価証券売却益	12,241	-
新株予約権戻入益	720	899
特別利益合計	12,961	899
特別損失		
投資有価証券評価損	242	23,506
特別損失合計	242	23,506
税金等調整前四半期純利益	524,777	836,991
法人税、住民税及び事業税	118,945	125,252
法人税等調整額	49,550	188,633
法人税等合計	168,495	313,886
四半期純利益	356,282	523,105
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,924	35,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,357	487,558

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	356,282	523,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,930	△29,383
繰延ヘッジ損益	△25,371	139,900
持分法適用会社に対する持分相当額	22,481	△23,119
その他の包括利益合計	△6,820	87,397
四半期包括利益	349,461	610,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,144	572,427
非支配株主に係る四半期包括利益	59,316	38,075

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	524,777	836,991
減価償却費	945,684	997,541
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,048	△9,021
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,083	△25,094
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,587	△1,757
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23,082	11,459
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,402	8,365
受取利息及び受取配当金	△98,172	△79,249
支払利息	81,578	76,914
持分法による投資損益 (△は益)	5,899	△22,699
投資有価証券評価損益 (△は益)	242	23,506
売上債権の増減額 (△は増加)	△169,639	△288,932
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△91,399	△428,822
仕入債務の増減額 (△は減少)	321,976	△93,091
未払又は未収消費税等の増減額	△391,453	1,452,924
その他	507,685	△76,102
小計	1,579,779	2,382,931
利息及び配当金の受取額	100,900	79,476
利息の支払額	△81,578	△76,914
法人税等の支払額	△179,809	△228,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,419,292	2,157,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,096,093	△342,571
固定資産の除却による支出	△9,466	△3,690
投資有価証券の取得による支出	△65,959	△29,912
投資有価証券の売却による収入	104,904	90,112
定期預金の増減額 (△は増加)	20,848	5,048
貸付金の回収による収入	3,750	5,850
その他	453	44,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,041,564	△230,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,210,000	390,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△940,000
長期借入れによる収入	2,300,000	-
長期借入金の返済による支出	△872,387	△797,503
配当金の支払額	△183,045	△183,073
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	-	1,732
その他	△16,920	△23,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,084,913	△1,554,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	462,641	371,702
現金及び現金同等物の期首残高	1,620,990	2,426,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,083,631	2,798,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したサイボークリエイト㈱を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響及び固定資産(大型商業施設)の耐用年数に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定及び固定資産(大型商業施設)の耐用年数を見積る際に利用した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	3,264,369	2,363,339	793,881	6,421,589	365,143	6,786,732	—	6,786,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,300	209,447	29	215,776	250,152	465,928	△465,928	—
計	3,270,669	2,572,787	793,910	6,637,366	615,295	7,252,661	△465,928	6,786,732
セグメント利益	97,566	219,235	143,714	460,516	45,832	506,348	△9,561	496,787

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	4,093,287	2,573,860	744,131	7,411,279	379,007	7,790,287	—	7,790,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,300	211,085	—	217,385	322,084	539,469	△539,469	—
計	4,099,587	2,784,945	744,131	7,628,665	701,092	8,329,757	△539,469	7,790,287
セグメント利益	23,384	720,240	70,457	814,082	56,621	870,704	△18,024	852,679

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。